



2020. 6月第619号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって事前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

ダビデ王の息子ソロモンは、イスラエル王国の黄金時代を築いた3代目の王である。彼は民族を統一し、近隣の諸民族を支配し、大いに交易を発展させ、イスラエルの版図を拡大した。またその知性と名声は、遠くシエバの女王の耳にまで届き、彼女がソロモンの知恵者ぶりを試しに、はるばる訪れたと聖書は記している。その名「平和(ソロモン)」の通り、彼の治世はイスラエルの歴史の中で、まれに見る繁栄と安定の時代であり「栄華を極めたソロモン」(マタイ6:29)と称されていたのである。彼の成した多くの華々しい事績の中でも、特に神殿建築が、その「生涯の中心的使命」(新聖書注解)であった。父ダビデから受け継いだ、その大いなる事業は、息子ソロモンの手によって成し遂げられた。

「ソロモンは、イスラエルの全会衆の前で、主の祭壇の前に立ち、両手を伸ばして、祈った。」(王上8:22)これは、会堂で行う礼拝の原型である。「わたしの家は、祈りの家と呼ばれ

るべき」(マタイ21:13)とは、まさにこのことなのである。ところが、ソロモンはこの神殿の完成を喜ぶ祈りの中でこう続ける。「神は果たして地上にお住まいになるでしょうか。天も、天の天もあなたをお納めする事ができません。わたしの建てたこの神殿など、なおふさわしくありません。」(王上8:27)と。さらに「わが神、主よ、ただ僕の祈り

名を置かれる所であり、主のおられる場所ではない。このことについて、注解者は次のように書く。「神ご自身がエルサレムの神殿に限定的に臨在されるというのではない。神は祈りの姿勢を重んじ、その考え方を受け入れられることを示している」(新聖書注解)と。「われ山にむかひて目をあぐ、わが扶助はいづこよりにきたるや、わがたすけは天地つくりたまへるエホバ

瞑想

イスラエルの神、主よ、まことにあなただけがすべての人の心をご存じです。

主幹牧師 榎本 恵

王上8:39

よりきたる」(詩篇121文語訳)まさにこの詩のとおりのことである。山が神なのではない。エルサレムの神殿に神が住まわれるのではない。私たちが目を見張る高い山も荘厳なエルサレムの神殿も、それが祈りの対象ではない。それを造り給うた方こそが、わたしたちの叫びや願いを聞かれるのだ。大事なことは、どこで祈っているのかではなく、

王上8:39

神は天高くいまし、その祈る私たちの心の内を見ておられる。

アシュラムと私 ③

三好 萬亀

追記
アシュラムで思い出

すことは、主の1982年8月、海外アシュラム（ブラジル、カルガリー、メキシコ、ロサンゼルス、バンクーバ）。小宮山林也師が役員会の席で、一人ひとりに「私について来てほしい。」と声をかけられました。皆無言のまま。家に帰り祈りました。

戦後、父の生家（佐賀県）に、



主人が復員して帰る迄2年近く世話になりました。父が荒地を耕すのに姉妹で手伝いました。その地が九州縦貫道建設のため買い上げられて大金が入り、父の死後でしたが、兄が7人の兄弟に分けてくれ、学生を持つ者には更に貰いましたので、それを当てることにして、先生に「おともさせて下さい。」と応募ができました。

現在、ブラジルアシュラムが榎本恵先生のご奉仕によって続けられていることに感謝しております。

2019・2・10
（日本アライアンス呉教会）

証し ⑤

石田 哲夫

5. 心の闇からの解放

福音書の語る御子イエス・キリストの使命は、「目に見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音をつげ知らされている」（マタイ11：5）ではありませんでした。その使命は「キリストは、神の身分でありながら、神と等しいものであることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで従順でした。（フィリピ2：6～8）

人が神とのあるべき均衡（バランス）を、その生涯をかけて具現されたのでした。人は頭を高く上げ、神を仰ぐもの（賛美するもの）として創造されましたが、人は自らの中にもろもろの衣装を着こむ事に固執し、創造者父なる神を見失ってしまいました。



祈りで繋がるファミリーの皆様と。
(2017年9月 第14回 国際正義・平和アシュラムin神戸にて)

今日の「こころの闇」の問題の所在は、わたしたちの心の中に潜む闇にあるのではなく、外界とのバランスの崩れにあることに行きつきました。かかる状況の対処の方策は、『天路歷程』の主人公クリスチャンが十字架の下に立ち、荷を降ろした姿にあることを見いだしました。

（無教会 金沢畝田聖書集会） （続）



オンライン聖書教室に参加中の和子母とるつ子姉。懐かしい皆様、初対面の方々とみことばを分かち合える事、感謝。

皆様からのお便りやメールに感謝して、その一部をご紹介します。
オンラインでの東京聖書教室にご参加後、お便り下さいました。
手作りマスクと共に。

伊賀 イツ子

「わたしたちの手の働きをどうか確かなものにしてください。」詩編90篇
先日は聖書教室に参加することができ、顔を見て話しすることが、どんなに喜びであるか、後になってじわじわ嬉しくなってきました。

文明の利器には乗るまいと思って頑張って手紙を書くことに励んでいましたが、やはり文明の利器は便利でそれなりに良いものだと思います。
どうか参加できましたのは、光太君が粘り強くお相手をして下さったお陰と感謝で一杯です。心からお礼をお伝え下さい。

手の働きを気付かせて下さりありがとうございます。昨年からミシンがけはもうできないと思っておりました。目、膝、腰などの痛みがあり止めようと、この1年はミシンを出すこともありませんでした。しかし、このコロナ騒ぎでマスクが不足していること、保育士さんが困っていることを聞き、作り出しました。布やゴムが手に入りにくいと友だちに話したところ、どうにかこれらも手元に届き、作り続けております。不思議です。目は眼鏡なく見えます。腰はどうにか悪くならず生活できております。それより夢中で作ることの喜び、「この柄は誰に・・・」と思いつながら作ることの楽しみを持ってやっています。

ちいろば先生の「一日一章」のことばでイザヤ45：7で「災いにも神は隠れた財宝をおいておられる」と。心にずしんときました。このコロナ禍のなか、財宝探しに向きをかえ、畑仕事とマスク作りの日々を感謝します。

3月には近江八幡の方に行く予定をしておりましたが残念です。いつの日かお会いできる日を楽しみにしております。

またオンラインで会いましょう。
今日も財宝探しの日々です。
主に感謝して

(黒見姉宅ちいろば祈りの家の友(※黒見姉病治療中の為、休止中・祈)
バプテスト連盟相模中央キリスト教会)



四国一日アシユラム中止のお知らせメール
脇 萬里子

宇賀先生から連絡があった
と思いますけれど長老会は6
月13日(土)の第二回四国ア
シユラムの会場提供を断念す
ることを決断しました。

それに伴いこちらからお願ひした14日(日)
の恵先生の説教の御用も断念!

悪魔の思うツボにはまってしまわないよ
う今こそエフェソ6：10の神の武器を
身につけて歩む者とされるように祈り願
います!

コロナウイルス感染が全世界へ拡大する
なか、次々と集会や委員会が中止になるなど
閉塞し、疲弊しているなかで、主は早朝苦手
なわたしに6：30から執り成しの祈りを迫
られました! 早天祈禱会出席に挫折したわ
たしに早朝祈することを示されたのです。人々
が医療に従事される方々を拍手で応援して
いる映像を見ていて、あっ!わたしにも出来
ることがある!と。

それが4月14日(火)

主は責任を持って目覚めさせてくださり
祈りの時を与えてくださいますから感謝で
す。小さい者の祈りではありませんけれど、全
国全世界の執り成しの祈りに加えてくださ
るようにと祈りつつ。

アシユラムのお働き、恵先生のお働きのうえ
に主の祝福をお祈りさせていただきます。

(日本キリスト教団 三島真光教会)



アシラムセンター新修道場計画について

主の家にいこう、と人々が言ったとき

わたしはうれしかった。

詩篇122:1

イエスは主なり
 コロナウイルスの感染
 拡大に伴う「緊急事態宣
 言」が出され、一月以
 上が経とうとしていま
 す。この間私たちの暮ら
 しは、ずいぶんと変わっ
 てしまいました。この状
 態がいつ終わるのか、ま
 た元の暮らしに戻るの
 か、いろいろな想いが錯
 綜しています。社会情勢
 は、この新型コロナウイルス
 防止のために「3密
 (密集、密着、密閉)」を
 避けるようにとのことも
 あり、たとえ「非常事態
 宣言」が解除されたとし
 て、しばらくは、人々
 が集まって同じ空間、時
 間を共有することが困難
 になることが予想されま
 す。

の礼拝も中止、休止、延
 期となつているところが
 多いです。それぞれが思
 い悩みながらも、主に聴
 き、祈り、その苦渋の決
 断をされていったことと
 思います。

けれども、このような
 時にこそ、この天地を創
 造され、この歴史の中に
 働き、この救いの約束を
 成就される方を見上げつ
 つ、静まり祈ることが大
 切です。先日、アメリカ
 に住む息子から、短い
 「メール」をもらいまし
 た。

「今こそ退修とは何か
 考える時だね」と。

そうです。そうなので
 す。退くことは、決して
 負けることではありません
 。「退修」を意味する
 英語の「リトリート」が、
 一度戦場を離れ、そこで

しばしの休息を得、また
 再び戦場へと帰っていく
 という意味であるよう
 に、私たちアシラム運
 動も、今こそ、その本領
 をはつきする時なのでは
 ないでしょうか。

さて、長年、祈つてお
 りました「新修道場計
 画」が、この春突然動き
 始めました。2007年
 に取得した「アンナ祈り
 の家」の隣地にある、「旧
 佐藤久勝邸」を売ってい
 ただけることになったの
 です。初代主幹牧師の時
 代から、なんとかこの土
 地を手に入れたいと祈り
 続けては、頓挫し続けて
 いたものが、今その手に
 入れることができようと
 しています。1931年
 に建てられたヴォーリズ
 建築であるこの建物は、
 登録有形文化財になつて

いる大変古い、しかし重
 要な建物です。隣の「ア
 アンナ祈りの家」と合わせ
 ると、500坪余りの土
 地になり、改修工事を経
 たのちには、最大7名の
 宿泊が可能となり、アン
 ナの家と合わせると12名
 でのアシラム集会が可
 能となります。

ここで、理想の形のア
 シラム集会を行うこと
 ができると思っております。
 毎月の修道場アシ
 ラム、また、短期、長期
 の修道生活、集会等、こ
 れらを行うことができる
 環境が整います。素晴ら
 しい環境の中で、思いつ
 きり神様に祈り、み言葉
 に聴いていく。そんな「退
 修」の時を持つのです。

残念ながら今、私たち
 は外出を控え、人との接
 触をできるだけ減らすこ
 とが求められています。
 けれども、必ずこの時は
 終わります。どうかその、
 終わりの時を信じ、また
 再び共に集まり、御言葉
 に聴き、祈り、共に分か
 ち合うアシラムを始め
 ましょう。

旧佐藤邸



玄関



浴室



和室



小さな洋室

お願い

さて、今回のヴォーリズ建築「旧佐藤久勝邸」を購入するにあたり、皆様に3つのお願いがあります。このような時代に、不動産の購入などいかなものかとお思いになる方もおられるでしょう。私が、このアシュラムセンターの主幹牧師になって13年が過ぎようとしています。その間、ずっと祈り続け、御言葉に聴き従ってまいりました。「アンナ祈りの家」を購入した時も、またアシュラムセンターの改築工事をした時も、本当に祈りました。そこで分かったことは、神様の時は、人間の条件とは何も関係ないと言うことです。旧約聖書民数記には、イスラエルの民が、荒野を旅立った時、天幕の上の雲の柱によつて動いたと書かれています。「雲が夕方から朝までしかとどまらず、朝になって、雲が昇ると、彼らは旅立った。昼であ

れ夜であれ、雲が登れば、彼らは旅立った。二日でも、一ヶ月でも、何日でも、雲が幕屋の上にとどまりつづける間、イスラエルの人々はそこにとどまり、旅立つことをしなかつた。」(民9:21-22)

このコロナの先行きの見えない時も、これから経済がどうなっていくかわからない時も、しかし、主の命令があるなら出立しなければならぬのです。そのことをご理解いただき、次の三つをお願いいたします。

1) どうか、まず、この主の命令の従いゆく者のためにお祈りください。

2) 次に、このことのために、どうか献金をお捧げください。お一人お一人の祈りと共に、その祈りの実を結ぶために、どうか献金をお捧げください。(同封の郵便振り替え用紙をお用い下さい)

3) 最後に、今回の土地

建物の取得、改装のための工事ににかかるお金を、滋賀銀行よりお借りすることになりましたが、アシュラムセンターでは今まで教会債と言う形で、有志の皆様方より、お金をお借りし、返済に当てております。もし、いまますぐご利用ではないお金があり、アシュラムセンターに貸して、銀行の返済をなるべく圧縮してやろうと思っていましたら、100万円を一口にし、銀行利子程度で、5年以上お貸しいただけませんでしょうか。ご検討ください。(教会債については、まずアシュラムセンターにお電話下さいませようお願いします)

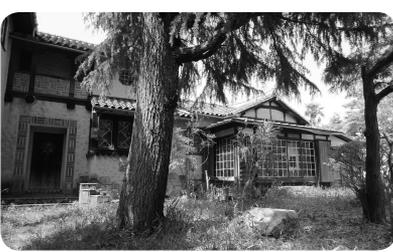
0748-3314030

土地建物購入費用 4500万円
改修工事費 1600万円
合 計 6100万円

以上、お願い申し上げます

あ と が き

誌面でも報告させていただきましたが、この度アンナ祈りの家の臨地、「旧佐藤久勝邸」を購入することを決定いたしました。コロナによる世界的な経済の先行きが不安定な中で、この決断を下すことは、大変なことではあります。しかし、時の良し悪しは、人が決めるのではなく、神がお決めになることだと信じています。どうか、このことを覚え、祈りお支えください。私が、13年前アシュラムセンターの主幹牧師になった時の、最初の年頭アシュラムで「この近江を日本のサトタル(スタンレー博士が、アシュラムをインドで最初のアシュラムを始めた地)にしたい」と、宣言していました。今、それが主の時を迎えています。



木々に囲まれた旧佐藤邸

ます。必ず、成し遂げてくださる神を信じ、このコロナの時期を乗り越えて参りましょう。

皆様の上に、主の祝福を祈っております。

アシュラムセンター
主幹牧師 榎本 恵
常任運営委員長 鎌田 速明
常任運営委員一同

(恵)

各集会は、オンラインの予定です。
詳しくは、アシュラムセンターまでお問い合わせいただくか、
ホームページをご覧ください。

6月の聖書教室など		【主な問い合わせ先】 0748-33-4030 アシュラムセンター
5(金)	阪神ミニアシュラム (オンライン PM1:00)	
8(月)	福岡聖書教室 (オンライン PM1:30)	
16(火)	大阪聖書教室 (オンライン AM10:30)	
17(水)	カフェちいろば聖書入門講座 (オンライン PM1:30)	
19(金)	センター聖書教室 (オンライン AM11:00)	
21(日)	ちいろば牧師記念チャペルタ礼拝 (YouTube「ちいろばチャンネル」ライブ配信 PM5:00)	
29(月)	静岡聖書教室 (オンライン AM10:00、PM1:30)	
30(火)	東京聖書教室・桜美林リトリート (オンライン AM10:30)	
7/3(金)	阪神ミニアシュラム (オンライン又は、主恩教会 PM1:00)	

6月のアシュラムなど	
13(土)	四国一日アシュラム 中止
18(木) 20(土)	第46回 加太アシュラム 中止
22(月) 26(金)	沖縄巡礼の旅 奉仕者 櫻本 恵師 検討中 0748-33-4030 アシュラムセンター

7月のアシュラム予定 (変更もあり)	
23(木)	第23回 福岡一日アシュラム 0748-33-4030 奉仕者 櫻本 恵師 アシュラムセンター
19(日)	天上の友を憶える日礼拝(夕礼拝にて) 0748-33-4030 奉仕者 櫻本 恵師 アシュラムセンター
延期	常任運営委員のための修道場アシュラム 0748-33-4030 奉仕者 櫻本 恵師 アシュラムセンター

8月以降のアシュラム予定	
8月27(木)~29(土)	関東青年アシュラム
9月18(金)~19(土)	新潟アシュラム
9月21(月)~22(火)	関西アシュラム (アシュラム連盟主催)
10月7(水)~9(金)	日光オリーブの里アシュラム
10月9(金)~10(土)	愛知一泊アシュラム
10月19(月)~21(水)	京浜アシュラム
11月19(木)~20(金)	阪神アシュラム

“ちいろばチャンネル”にて、夕礼拝、各聖書教室(恵師の話)がご覧になれます。
聖書教室は、オンライン全国どこでもご参加できます。また、ネット参加できない皆様のことも覚えて、お祈りしています。再会の日を心待ちにしつつ。
また現在、郵送停止の為、アシュラム誌が届かない国々の友のこともお祈り下さい。(香港、スペイン、オーストラリア、ニュージーランド、ブラジル、アメリカ)



みことば

日本基督教団 安来教会牧師
山陰アシュラム推奨者
遠藤 誠一

「祈りについて」20年ぐらい前から数年間、保田みゆき牧師から深沢教会の「バイブルアカデミー神学院」で学んだことを、記してみたいと思います。

(保田みゆき牧師は引退されました)

①たたきなさい

イエス様のみ言はまず「たたきなさい」と言われます。肉体である人間が、「神様の宮の門」をたたきなさいと言われていて、どれくらいたたけばよいのでしょうか。「門が開かれるまでたたき続けなさい」と言われます。ではその門は、どのようにたたけばよいのでしょうか。それは肉体の力ではできません。霊だけがその門を開くことができるのです。その霊はアダムの造られたとき神様が命の息(霊)を吹き入れられたものです。(創世記2:7)

聖霊はその霊を導いて下さり、たく道をお教えてくださいます。イエス様は「たたき続けなさい、その門が閉じていても、友人だからというだけでは開けてくれないが、しきりに願うので開けてあげよう」と言われました。(ルカ11:8) 聖霊はイエス様の血潮で救われたものを助けるために臨まれた方です。ですから、聖霊が働くようにすれば、聖霊はわたしたちのために切に祈ってくださいます。(ロマ8:26) そして、門が開かれるのです。門が開かれるとどうなるでしょうか。

「わたしはダビデの家およびエルサレムの住民に、恵みと祈りの霊とを注ぐ。彼らはその刺した者を見る時、ひとり子のために嘆くように彼のために嘆き、ういごのために悲しむように、彼のためにいたく悲しむ。」(ゼカリヤ12:10) と言われてるように、聖霊が靈魂に、祈りの霊を注いでくださるならば、靈魂が泣き、悲しむことがあるのです。ある、聖会に参加した時です、3泊4日の間メッセージや証し、賛美、交わりなどでしたがその最終日のことです、証しを聞いている時に、急に悔い改めに導かれ、涙がとめどなく流れ、涸れてしまうほどでしたが、「主よごめんなさい、ごめんなさい」としか言葉が出ませんでした、その後、私の体内と靈魂に、山から湧き出る清い水がさらさらと流れ落ちてくるような体験をしました。それが何とこちよかったですか。聖書をもっともっと読みたい、もっと祈りたいと思いました。これが聖霊充滿というのですね。すると、肉体的には祈りは苦痛で長くは続きませんが、聖霊にたよるとき、時間を忘れてしまうほど祈ることができるのです。(次号につづく)